

作品研究) POWER OF BEAUTY 2025 フォトカラーデザインモデル部門出品作品 - 『futuristic』 - (POWER OF BEAUTY 2025 Photo Color Design Model Category Exhibited Works - 『futuristic』 -)

酒井 朋恵 阿部 高広

抄 録

全国的美容師や美容学生が集い、技術や感性を競い合う、年に一度の美容コンテスト&ショーイベント<POWER OF BEAUTY 2025>(旧 STYLING COLLECTION)「フォトカラーデザインモデル部門」に参加・出品した作品について、制作過程やテーマを紹介する。

キーワード: POWER OF BEAUTY 2025 フォトカラーデザインモデル ヘアカラー コンテスト フォト

I. はじめに

<POWER OF BEAUTY 2025>(旧 STYLING COLLECTION)とは、世界最大の理美容室組織<SPC GLOBAL>が主催する、全国各地の理美容師達が技術とプライドを懸けて競い合い、日本一のトップを目指す日本最大級のコンテスト&ショーイベントである。

今年は「POWER OF BEAUTY〜輝け未来〜」というテーマでエンターテインメント性の高いイベントとなった。

昨年は、「ネイルフォトモデル部門」の競技に参加しゴールド賞をいただいた。今年も同部門に参加するため準備していたが、今年は「フォトネイルモデル部門」がネイルチップのみの部門に変更していたため、今年から新しく新設された「フォトカラーデザインモデル部門」の競技に挑戦することにした。

今回参加した「フォトカラーデザインモデル部門」では、各自が設定したテーマに合わせて、ヘアメイクの統一性を意識した自由な発想による独創的なトータルコーディネートを作り上げ撮影し、芸術的感性を活かしたヘアカラーデザインを競い合うものである。作品は、ゴールド賞(1位)を受賞した。

II. 作品紹介

今回の作品は、作りたい雰囲気のモデルを決め、モデルの魅力を最大限に活かせるヘアデザイン、メイクや衣装を作り上げ、作品の世界観を一枚の写真で表現出来る様に撮影した。

全体のイメージとして「アンニュイな雰囲気」を出し、可愛すぎず、意志のある媚びない魅力を表現した。

「ヘア」は、カラーデザインがメインの競技のため、カラーでは難しいとされるホワイトベースのパステルカラーを使った。全体を黄味のある淡いパステルピンクにして柔らかい可愛らしさと透明感をだして、前髪にパープル・ブルー・グリーン・青味のピンクの4色の淡いパステルカラーでポイントとしてグラデーションを入れた。

「カット」はベリーショートで丸いシルエットにして、スタイリングは毛に束感を出し、ポイントにアイロンでカールをつけて外ハネにした。襟足には前髪に使用された色と同じトーンの淡いパステルカラーの毛を編み込んだ。可愛くなり過ぎず媚びない意志とアンニュイな雰囲気を表現した。

「メイク」は、肌が少し荒れている部分があったため、白く透明感を出すコンシーラーやハイライトを使用し、白く透明感を出した。素肌感を出すため、チークは肌なじみの良い黄味のピンクを乗せて、薄いブラウンとホワイトで敢えてそばかすを描き足してナチュラルに仕上げた。目はシュッと見せるため、アイラインを長く釣り上げて描き、つけまつげはカールが弱く目尻に向かって極端に長くなっているものを付けて、よりシャープに見えるようにした。色素の薄いグレー系のカラーコンタクトでさらにシャープな印象にした。眉毛は浮いて見えないように、パープルとピンクのアイシャドーを乗せて髪の毛と馴染むようにした。リップは肌なじみの良い落ち着いた黄味の赤をおちょぼ口に寄せて縦に広く、横は狭く描いた。

「衣装」は、可愛らしさとアンニュイな雰囲気を表現するため、ヘアと同様に淡い黄味のあるピンクのパステルカラーがメインの刺繍が施されたキャミソールビスチェに、羽根やシルバーチェーンを使用したレースブラレットを重ね付けして、セクシーになり過ぎないようにした。鼻にフェイクピアスを付け、耳にピアスとイヤークフを重ね付けして、アンニュイで個性的な雰囲気を出した。

「撮影」は、柔らかな光に包まれた印象になるように設定し、作品の色味が映えるようバックは白でセッティングした。正面のライティングは、作品のクールな印象から少しモデルの持つ可愛さが見えるようライティングで調整した。

「ポージング」は、アンニュイな雰囲気を出したかったため、あえて少し不満そうに口はへの字にし、目は半目で挑発するような表情にしてもらい、少し身体と首を傾けてS字を描くようにし、気怠さと挑発的な雰囲気を表現した。

最後に、撮影した写真の中から、よりヘアの細部が鮮明に映り、モデルの個性が出せていて、かつ、可愛らしさとアンニュイな雰囲気が表現できている写真を選択し、その世界観を表現する作品のテーマとして『futuristic』と名づけた。

今回は、イメージにふさわしいモデルがみつき、依頼することができて、表現したかったイメージ通りの納得のいく作品に仕上げることができた。その結果ゴールド賞（1位）という評価をいただくことができた。

近年は、美容師も美容技術を施す職人というだけではなく、美容技術に加えて自己プロデュース能力や、技術で表現しグローバルに伝えていく技術も求められる。更に撮影技術や作品の見せ方などの様々な高い技術も求められてきている。コンテストにもその傾向が強く出てきていると感じる。

今後更に新しい技術を学び、挑戦し、成長していきたい。



撮 影：阿部高広
モデル：本橋実桜

タイトル：『futuristic』

「POWER OF BEAUTY 2025」 フォト部門 <フォトカラーデザインモデル> ゴールド賞 受賞作品